

米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

10月～11月にかけて保険会社から保険料控除証明書が送られてきます。保険料控除証明書は、年末調整や確定申告に必要となります。

紛失してしまうと再発行に時間がかかることがあります（特に今年は感染症の給付金の請求が膨大で、事務対応に時間がかかっています）。

提出期限に間に合わずにご迷惑をおかけすることもありますので大切に保管しておいてください。

保険会社から控除証明書が送られてくるこの時期、加入している保険の内容について確認する機会にはいかがでしょうか？



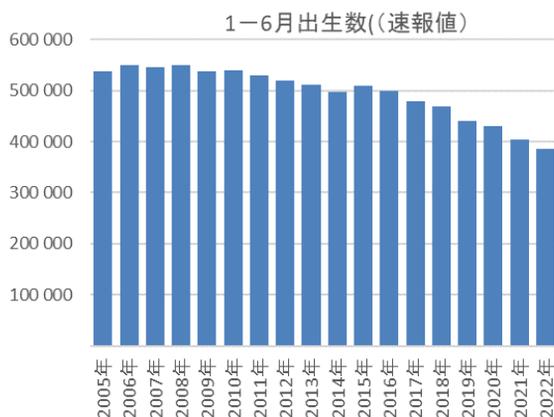
今月号のちょっと気になるお金のコラム

この夏、久しぶりに海外旅行に行ったが、物価が高くて楽しめなかったという声を聞きます。一つの原因は円安、もう一つは・・・

1-6月の出生数 40万人割れ

今年1月から6月に生まれた子どもの数は38万4942人で、前年同期に比べ2万87人減（5.0%減）となりました（厚生労働省・人口動態統計速報値）。

長引く新型コロナの流行で感染の不安から妊娠を控えるというケースもあったとは思いますが、2005年以降の推移をみると新型コロナの影響だけではないと言えそうです。



9月に公表された出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）によると、未婚女性が希望する子どもの数は1.79人と初めて2人を下回ったそうです。子育てや教育にお金がかかる、高齢で産むのが嫌、などが主な理由ということを考えてみると当面はこの傾向が続くと考えておいた方が良くかもしれません。

保険や年金などはしっかりと確認しておく必要がありますね。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪府天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム



1ドル140円台に

この夏に海外旅行をした人の「旅行代金は日本で支払っていったが食事などは現地で支払い。あまりの高さで楽しめなかった」、と言った声をニュースなどで聞いた人もいないでしょうか？

下図は1998年以降の為替相場（ドル円）の推移です。

2010年ごろ、1ドル80円の時に10万円をドルに替えると1250ドルになりましたが、同じ10万円も140円で両替すると714ドルにしかありません

これが海外で物価が高く感じる一つの要因ですね。



外国のものが高く感じる理由は円安だけでなく賃金格差もその要因と言われています。

時給22ドル？

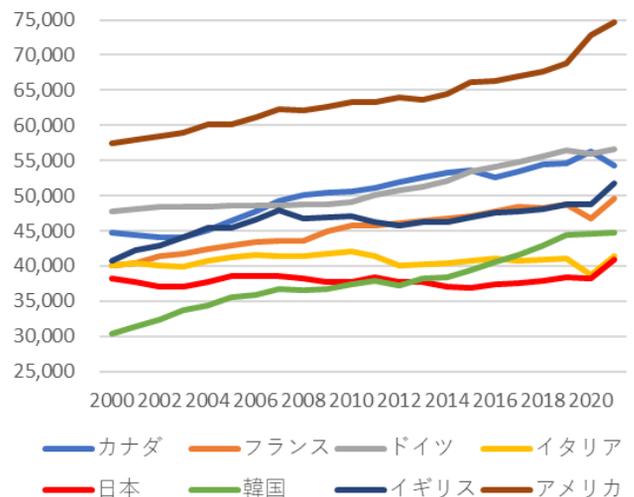
先月、アメリカカリフォルニア州知事がファーストフード店で働く労働者の最低時給を22ドル（約3,000円）にするという法案に署名した、というニュースを聞いて驚いた人も多いのではないでしょうか？

マクドナルドなどは反対しているようでまだ施行はされていませんが、現在の時給も15ドル（約2,000円）と日本の同じ職種と比べても約2倍です。

ファーストフードだけではなくありません。アマゾンの倉庫や物流部門の従業員の時給は19ドル（約2600円）、アップルストアの店員の時給は22ドル（約3,000円）と日本では考えられないような時給が支払われています。

下図は先進7か国（G7）と韓国の平均年収の推移です。

<https://data.oecd.org/earnwage/average-wages.htm>、より作成）



日本とイタリア以外は賃金が上がっているのがわかります。物価の上昇と賃金の上昇が連動していれば良いのですが、このまま賃金が上がらずに物価だけが上がっていくと私たちの生活にも影響が出てくるかもしれません。

老後資金の準備などをどのようにしていくか検討する良い機会かもしれませんね。